

# 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターで 診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

**研究課題名：** 脳卒中発症時点におけるサルコペニア者及び非サルコペニア者の筋肉量の経過に関する検討

## 研究の目的

脳卒中患者では不動や栄養失調などの要因によりサルコペニアを引き起こすと報告されています。サルコペニアは患者の予後を悪化させ、身体機能回復の低下、入院期間の延長、在宅退院率低下などに関連するため、リハビリテーションを進めるうえで、サルコペニアが患者に与える影響について明らかにしていく必要性があると考えます。

**研究実施期間：** 2023年4月3日 ～ 2024年3月31日  
(倫理委員会承認日)

**対象となる方：** 当院に入院している脳卒中患者のうち2019年7月～2023年9月までに当院に入院しており、体組成計 InBody を測定したもの。除外対象者は病前の mRS が3以上のもの、データが欠損しているもの、研究同意の得られなかったものとします。

## 利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、基礎情報として年齢、性別、身長、体重、脳卒中分類(出血・梗塞)、上肢・下肢の麻痺の程度(Br.stage)、ADL(起居・移乗・排泄動作のFIMの得点)能力について、標記研究課題実施のために利用します。

具体的には、当院で収集している体組成計 InBody のデータを用い、後方視的に調査します。発症3日以内の時点におけるサルコペニアの有無を確認するため、先行研究を参考に、骨格筋指数(以下:SMI)と非麻痺側上肢の握力の両方がカットオフ値を下回るものをサルコペニアと判定し(SMIでは男性7.0kg、女性5.7kg以下のもの、握力のカットオフ値は男性28kg、女性18kg)、サルコペニア群と非サルコペニア群の2群に分類します。その後4週目と8週目におけるSMIと握力のデータを用い両群における差を比較し、統計学的処理は2元配置分散分析を用い明らかにしていきます。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等、個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん又はその代理人の方は以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

<b>本件連絡先</b>	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 尾田遥香 連絡先電話番号：0172-28-8220
--------------	--